

医・工・デザイン連携グローバルアントレプレナー育成プログラムにおける 医学科学生を対象とした特別講義の有効性

谷藤 真琴, 松浦 昌宏, 江田 和生, 遠山 育夫
(滋賀医科大学 バイオメディカル・イノベーションセンター)

1. 背景と問題意識

医・工・デザイン連携グローバルアントレプレナー育成プログラム(iKODE プログラム)は、文部科学省のグローバルアントレプレナー育成促進事業(EDGE プログラム)¹として平成 26 年度に選定された一つである。³ 選定された機関である滋賀医科大学は、本プログラムを同大学大学院の「学際的医療人コース⁴」のカリキュラムに組み込んでいるが、学内外の学部生・大学院生・若手研究者・大学教職員・企業の従業員を受講対象者として受入れている。

平成 27 年度より本格的に運営され始めた iKODE プログラムは、年度初めに計画した通常のプログラムとは別に、不定期で iKODE プログラム主催・共催のイベントを学内外で開催しており、潜在的受講生の発掘に取り組んでいる。

そこで本学医学部第1学年学生への iKODE プログラム主催の特別講義を企画・実施を行なった。医学部学生は、学年が進むほど医師免許取得のための専門科目の履修で多忙になるが、第1・2学年はまだ一般教養科目を履修しなければならない時期である。この企画は学生自身の専門性を決定する前に、医工連携によるイノベーション創出やアントレプレナーシップの醸成という iKODE プログラムの主旨を理解してもらうことで、医学部学生のキャリア形成における選択肢の拡大を意識している。

2. 研究方法・内容

本研究は、平成 27 年度後期に行われる医学科第1学年学生(101 名登録の必修科目)を対象とした全 19 回で構成されている後期授業科目(1 回 90 分)のうち、2 コマを iKODE プログラムが主催する企画で行なった特別講義を対象とする。1 つ目の科目は、アメリカで創薬ベンチャー企業を立ち上げた CEO を招いた講演である。この講演は、創薬に対する夢や志について、また夢や志を実現するために選んだベンチャー起業について、医学科第一学年の学生に医師免許を取得することで、どのような夢を成し遂げたいのか問いかけることをテーマにしたものである。2 つ目の科目は、他大学の教員を招き、海外の大学で取り組まれている医工連携イノベーション創出プロジェクトについての講演である。この講演は、世界最先端の優れたバイオ・イノベーション創出における多領域の専門家連携における優れたイノベーション・マネジメントの事例である。

学生全員にレポートとアンケートを行なったデータをもとに分析した。レポートは、テキストマイニングを採用し、キーワードの比重やキーワード間の構造から学生の傾向を恣意的ではなく定量的に分析した。アンケートは質問表調査を採用し、統計的手法に基づき、科目に対する期待等、多角的に分析した。

得られた結果をもとに、来年度のプログラムにおいても医学科第1学年学生を対象にした特別講義の企画や学生の期待値を上昇させるような企画の必要性を考察し、今後のプログラム内容に反映させる。

【参考文献】

- 1) 「我が国におけるイノベーション創出の活性化のため、大学等の研究開発成果を基にしたベンチャーの創業や、既存企業による新事業の創出を促進する人材の育成と関係者・関係機関によるイノベーション・エコシステムの形成」を目的としている。(「グローバルアントレプレナー育成促進事業(EDGE プログラム)」http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/edge/1346947.htm 参照 (2015 年 11 月 09 日参照))
- 2) 全選定機関については「平成 26 年度グローバルアントレプレナー育成促進事業(EDGE プログラム)選定機関一覧」(http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/edge/_icsFiles/afieldfile/2014/08/07/1350373_01.pdf) 参照 (2015 年 11 月 09 日)閲覧
- 3) 「医学と他分野との融合による新しい学問分野の創成や医療イノベーションに関する研究を行い、博士論文を作成して学位の取得を目指します。医学部以外の出身者に配慮した授業科目を設置しています。」滋賀医科大学 HP 大学院医学系研究科 (<http://www.shiga-med.ac.jp/subject/graduate.html>) より抜粋 2015 年 11 月 09 日閲覧)